

1 顕微鏡

| | | |
|-------------|----------|--------|
| ① A 調節ねじ | B レボルバー | C ステージ |
| ② 最大倍率：600倍 | 最小倍率：70倍 | |

2 花のつくりとはたらき

| | | |
|---|-----|-----|
| ① ア A | イ B | ウ D |
| ② 胚珠 | E | ③ エ |
| ④ ちがい：被子植物は、胚珠が子房の中にある。 裸子植物は、胚珠がむき出しになっている。 | | |
| 名前：イチヨウ、スギ、ソテツ など | | |

3 葉と光合成

| |
|--------------------------------------|
| ① BとC |
| ② 光合成には光が必要であること。 |
| ③ 試験管Aで生じる変化が、植物のはたらきによって生じる変化であること。 |

4 蒸散

| |
|---------------------------------------|
| ① 水面から水が蒸発するのを防ぐため。 |
| ② 葉の表側よりも裏側に気孔が多い。 |
| ③ 茎の断面にある「水の出口」がむき出しになっても、蒸散は起こらないこと。 |

5 茎のつくりとはたらき

| | | |
|--------|--------|-------|
| ① A 道管 | B 師管 | ② エ |
| ③ 維管束 | ④ 双子葉類 | ⑤ ア、オ |

6 種子をつくらない植物

| | | |
|----------------|--------------|--------|
| ① A 胞子のう | B 胞子 | ② シダ植物 |
| ③ シダ植物：イ、ウ、オ、キ | コケ植物：ア、ウ、カ、キ | |

学びを活かして考えよう

① はたらき：吸水

理由：根毛があることで根と土が接する面積が広がるため、多くの水や肥料分をとりこむことができる。

② 色あざやかな花に引きつけられた昆虫などの動物のからだにその花の花粉がつき、別の花のめしべに運ばれて受粉の助けとなる。

確かめと応用

活用編

単元1 植物の世界

教科書1年 p.66

1

① 花を縦に切った図を見ると、タンポポの花の中に、花のつくりの特徴である子房が独立して多く見られるから。また、分解した小花の図を見ると、花のつくりの特徴であるめしべや花弁、がく、子房などが見られるから。

② 受粉して種子をつけたタンポポには、小さな果実が独立して多く見られるから。

2

① ゼニゴケ

② シダ植物

③ イネやユリは単子葉類なので、同じグループであることを確認するためには、その特徴である葉脈のようすを調べればよい。

④-1 オオカナダモを入れた試験管の中に、火のついた線香を入れて、激しく燃えるかどうかを調べる。

④-2 沸騰させたことで水の中から二酸化炭素が追い出されたため、どちらも光合成を行わなかったと考えられる。

④-3 一度沸騰させてから冷ました水に、オオカナダモを入れ、ストローで息をふきこんでからゴム栓でふたをして、日光を当て、光合成が行われたかどうかを調べる。
